

新都心整備 - ハーパーランド・HAT・神戸海上新都心 -

都市再生機構施行

神戸ハーバーランド

神戸ハーバーランドは、JR神戸駅の東に位置する旧国鉄湊川貨物駅跡地を中心とした既成市街地での大規模な再開発事業であり、三宮から神戸への広域的都心構造を形成し、インナーシティの再生を図るとともに、ウォーターフロントの再開発を目的に整備を進め、平成4年にまちびらきを行いました。

整備にあたっては、「海につながる文化都市の創造」を基本テーマとして、重層的・複合的な土地利用により、業務・文化・情報・福祉・教育・住宅など、多様な施設立地を図るとともに、水際環境を活かしたまちづくりを行ってきました。

また、恵まれた自然や立地条件を活かした空間形成を図るとともに、特色ある商業・業務施設や、スペースシアター、はね橋、キャナルガーデン、運河など、デザイン都市・神戸にふさわしい特色あるまちづくりを行いました。



● 神戸ハーバーランド土地区画整理事業

面積 16.7 ha

施行期間 昭和61年度～平成4年度

神戸市施行

HAT神戸（東部新都心）



● 東部新都心土地区画整理事業

面積 74.7 ha

施行期間 平成7年度～平成15年度

HAT神戸は、中央区東部及び灘区西部の臨海部における大規模工場の遊休化に伴う土地利用転換にあわせて、新たな都市機能の導入とウォーターフロントの整備、並びに周辺地域の活性化等を目的に、計画的な基盤整備を図るとともに、震災により甚大な被害を受けた市街地の住宅、産業等各種都市機能の受け皿となる市街地復興の先導的役割を担う、神戸市震災復興のシンボルプロジェクトです。

HAT神戸の整備においては、「魅力ある水際交流空間の創出」「周辺を含めた地域の活性化」「新都心の形成」「国際的拠点の形成」という4つの基本方針のもとで、震災の教訓を踏まえた、「安全」「環境」「福祉」「活力」の4つの視点で、新しいコミュニティと文化を育む新都心のまちづくりを行いました。

参考

【HAT神戸】事業着手にあわせて公募を行い決定した東部新都心の愛称で、「Happy Active Town」の頭文字を組み合わせ、文字通りハッと変貌し、誰もが幸福で活気あふれるまちとなるように願いを込めて命名しました。

個人施行

神戸海上新都心 / 神戸海上新都心南

神戸海上新都心地区は、神戸港のポートアイランド（第一期）の北西部に位置するコンテナバースの移転に伴う跡地利用として、都心ウォーターフロントとしての都市機能用地や緑地に機能転換を図るとともに、港の水際線の特性を活かした魅力あるまちづくりを目的に事業が行われました。

本地区には、神戸学院大学、兵庫医療大学、神戸夙川学院大学の3つのキャンパスが進出し、水際ゾーンには「ボーアイしおさい公園」として緑地や歩行者デッキが整備されるなど、学生だけでなく市民や観光客も集う、神戸の新たな賑わいを生み出すスポットとなりました。



● 神戸海上新都心土地区画整理事業

面積 18.0 ha

施行期間 平成17年度～平成19年度

● 神戸海上新都心南土地区画整理事業

面積 9.4 ha

施行期間 平成17年度～平成19年度